

裾野市長泉町衛生施設組合新火葬施設  
火葬炉設備業者プロポーザル応募書類作成要領

裾野市長泉町衛生施設組合火葬炉設備業者プロポーザルについては、以下のとおり書類等を作成すること。

なお、書類等の記載表現は自由とするが、文書は簡潔に分かりやすく、図面は見やすい表現とすること。専門用語を用いる場合は、可能な範囲で本文中又は本文外に説明を付すこと。文献を引用した場合は、出典元（名称、ページ等）を明示すること。

## 1 様式入手先

裾野市公式ウェブサイト（<http://www.city.susono.shizuoka.jp>）、長泉町公式ウェブサイト（<http://japan.nagaizumi.org>）からダウンロードし入手すること。

## 2 参加表明

### (1) 提出書類

- ① 火葬炉設備業者プロポーザル参加表明書（様式1）
- ② 会社概要（様式2）
- ③ 納入実績（様式3）
- ④ 火葬炉設備の故障に対する考え方（様式5任意様式 A4判縦1～2枚程度）

裾野市長泉町地域には現時点で各炉メーカーの拠点となる場所（支社・営業所等）が無いことから、緊急を要する故障が発生した場合、火葬施設職員が対応しなければならない。そこで、故障を発生させないための対策と、故障が発生しても火葬の進行を大きく遅らせない（会葬者等に大きな迷惑をかけない）ための対策について、裾野市長泉町地域で予定している対策を具体的に記載すること。

### (2) 書類の姿

- ① 参加表明書等のため作成する書類のうち、様式の指定がない（任意様式等）ものについては、文字を横書きとし、文字サイズは10.5pt以上とすること（図表中の記載はこの限りでない）。枚数、行数、カラー仕上げ、用紙方向等は自由とするが、用紙サイズはA4判とすること。
- ② 提出書類は、様式1を表紙として一括左綴りし、A4判片面印刷とする。なお、会社概要、納入実績及び火葬炉設備の故障に対する考え方の3つの項目ごとにインデックスまたは見出しを付けること。製本方法、用紙及びファイルに綴じるか否かは自由とする。ファイルに綴じる場合の表紙、背表紙には、「裾野市長泉町衛生施設組合火葬炉設備業者プロポーザル参加表明書」との表題と、会社名のみ記載すること。
- ③ 添付書類は、該当する様式に続けて綴ること。

## 3 技術提案

### (1) 提出書類

- ① 技術提案書提出書（様式6-1）

② 技術提案書表紙（様式6-2）

③ 火葬炉設備の基本方針に対する提案書（様式7-1～7-8 各1～2枚程度）

組合の基本方針の各項目について、考え方や方策等を項目ごとに示すこと。なお、基本方針の(6)については、保証期間内と保証期間終了後のサービス対応について提案内で必ず触れること。

④ 火葬炉設備に関する提案書

1) 本提案設備の基本コンセプトと特徴（任意様式 A4判縦3～4枚程度）

本提案における基本コンセプトと特徴を記載するとともに、提案する理由（導入や運用のコスト、制御性能や公害防止性能、大震災のように特異的な需要が発生した時の運転性能、将来の設備改修工事等の考え方）について記載すること。

なお、任意様式での作成にあたり、様式の右端最上部に事務局から指定された整理記号を「整理記号（アルファベット1文字）社」（MS明朝12ポイント）として必ず記載すること。以下の任意様式も同様とする。

2) 基本設備の概要と特徴（任意様式 A4版縦 各項目1枚程度）

火葬炉設備の主な仕様（様式8）

「裾野市長泉町衛生施設組合火葬炉設備業者プロポーザル基本仕様書」中の「3 基本設備」の「(1) 主燃焼炉」から「(13) 計装設備」までの各項目について、各設備の概要と特徴を任意様式に記載し、様式8により火葬炉設備の仕様を示すこと。任意様式において、「(2) 再燃焼炉」については、提案の排ガス滞留時間を確保している理由、「(4) 排ガス冷却設備」については、提案する冷却方式を採用した理由、「(5) 集塵装置」については、提案において最大排ガス量の通過速度を確保している理由を必ず記載すること。また、「(14) 安全対策」及び「(15) 非常時対策」の項目について、任意様式にて提案を行うこと。

なお、提案内容に応じて基本設備に記載のない設備（基本設備に相当する設備）を追加する場合も同様とする。

3) 火葬炉設備設計計算書（任意様式 A4判縦）

以下の事柄に留意すること。なお、dからfについては、次の4)においても同様とする。

a. 再燃焼炉の容積計算について、計算式と図で説明すること。

b. 各設備の余裕率の根拠を説明すること。

c. 最大排ガス量については、要件「12 燃焼計算区分」のⅡ区分において発生すると思われるが、Ⅱ区分のうちでも最も排ガス量が多いと考えられる時点においても再燃焼炉の排ガス滞留時間が1秒以上であることを説明すること。（任意記載）

d. 計算には別紙2「火葬炉熱計算基本要件」（以下「要件」という。）の数値等を用いること。

e. 要件「12 燃焼計算区分」ごとの計算結果を1枚の表にまとめるとともに、全体の合計等が分かるようにすること。

f. 計算式の記載について、ある数字を他の計算結果から引用しているときは、引

用元を明示する、色分けをする等、全体として見やすく分かり易い表現に努めること。

4) 燃料・電気使用量計算書（任意様式 A 4 判縦）

⑤ 公害防止対策に関する数値

1) 提案設備における補償値（様式 9-1）

補償値が達成できる根拠（任意様式 A 4 判縦 1～2 枚程度）

別紙 1「新火葬施設公害防止基準値」を参考に本提案設備における補償値を示すこと。飛灰については、参考値とし、示すことが可能であれば示すこと。緊急用にバグフィルターを経由しない排気経路（バイパスダクト）を設ける場合は、この排気経路を通して大気中に排気した場合の排気筒出口におけるダイオキシン類の数値（ $\text{ng-TEQ/m}^3\text{N}$ ）について、示すことが可能であれば根拠と合わせて示すこと。（飛灰及び後者は、補償値とはしない。）

また、補償値が達成できる根拠について、本提案における公害防止対策と合わせて記載すること。

2) 導入事例の実績値（様式 9-2）

燃料を都市ガスとするバグフィルター集塵設備を備えた火葬炉の測定記録について、施設名を明記し2 炉以上提出すること。なお、各炉は別の施設とし、本提案との設備上の相違点を簡潔に記載すること。また、新設時と経年後の測定記録がある施設については、本様式により両方を提出すること。

3) 導入事例における飛灰の実績値（様式 9-3）

燃料の種類は問わないが、飛灰中のダイオキシン類の測定記録がある施設があれば合わせて提出すること。なお、本提案との設備上の相違点を簡潔に記載すること。また、新設時と経年後の測定記録がある施設については、本様式により両方を提出すること。

⑥ 火葬実績に関する数値（様式 10）

都市ガスを燃料とする火葬炉を備えた施設における次のデータについて、施設名を明記のうえ2 施設以上の実績を提出すること。なお、いずれも直近の 24 か月（時期は任意）の実績と、当該施設における副葬品やドレッキ作業の程度を大まかに記載すること。

1) 1 体当たりの都市ガス使用量（単位：立方メートル）

2) 1 体当たりの火葬時間（再燃焼炉バーナー着火から主燃焼炉消火まで）

3) 24 か月のうちで最も時間のかかった火葬の時間と理由（不明な場合は、分かる範囲で最長とする）

⑦ 設備図面（様式 15 任意様式）

現時点では建物設計を行っていないため、本提案の設備においては別紙 3 の参考図を参照し、次の条件により作図するものとする。縮尺を記載すること。本プロポーザルの対象となる火葬炉の作図に加え、合わせて将来増設する火葬炉の作図も行うこと。次の「⑧各種設備の詳細図」も同様とする。

## [作図条件]

火葬炉の各設備は1階に配置する。別紙3の平面図・断面図を参考にし、炉の運転業務や定期的なメンテナンス、設備の修繕、将来的な改修工事に支障がない範囲で最小設置面積及び最低排気筒高となるよう作図すること。高さを抑えるために1階床面の一部を低くする等をしないこと。また、本提案において最小の面積・最低の高さであることの説明をつけること。なお、梁や柱は考慮する必要はない。寸法と縮尺を記入すること。

- 1) 火葬炉設備設置にかかるフローシート（1系統について記載）
- 2) 火葬炉設備平面図、立面図
- 3) 火葬炉構造図（材質などの区分けを分かり易く表現すること）
- 4) その他火葬炉設備の提案に必要な図面
- ⑧ 各種設備の詳細図及び性能仕様（任意様式 A3判横）
  - 1) 燃焼設備（主燃焼用バーナー、再燃焼用バーナー、燃焼付属機器等）
  - 2) 燃焼用空気送風機
  - 3) 排ガス冷却装置（冷却機、冷却機用送風機）
  - 4) 集塵装置（バグフィルター集塵機、付随装置）
  - 5) 排気装置（排風機、排気筒）
  - 6) 灰処理設備（残骨灰処理設備、飛灰処理設備）
  - 7) 運搬車・台車（枢運搬車、台車運搬車、炉内台車）
  - 8) その他火葬炉設備の提案に必要な図面
- ⑨ 電気・計装図面（任意様式 A3判横）
  - 1) 電気設備容量計算書及びシステム運転時負荷計算書
  - 2) 制御シーケンス図
  - 3) 制御及び計装一覧表
  - 4) 中央監視盤、炉操作等必要な盤類の形態図及びシステム内容
  - 5) その他火葬炉設備の提案に必要な図面
- ⑩ 項目別工事概算参考見積書（様式11-1・11-2・11-3）
- ⑪ 維持管理費概算参考見積書（様式12-1・12-2・12-3）

提案設備を維持管理するにあたり、予期しない故障や事故等の復旧に係る費用を除き、一般的なメンテナンスを行った場合に必要と考えられる費用について全て盛り込むこと。（想定しうる最大費用）
- ⑫ 維持管理、日常的な修繕、大規模修繕に対する考え方

維持管理費概算参考見積もりを作成するにあたりその根拠となる維持管理の考え方、必要な日常的な修繕とその頻度、予想される大規模修繕とその時期について記入すること。（様式12-4）
- ⑬ 主要機材補修費一覧表（様式13）
- ⑭ 運営体制調書（様式14）
- ⑮ 運転指導及び教育体制（任意様式A4判縦1枚程度）

## (2) 書類の姿

- ① 様式の指定がなく、技術提案書等のため作成する書類（任意様式等）については、文字を横書きとし、文字サイズは 10.5pt 以上とすること（図表中の記載はこの限りでない）。枚数、行数、カラー仕上げ、用紙方向等は自由とするが、用紙サイズはA 4判又はA 3判とすること。
- ② 提出書類は、A 4 縦ファイルに様式 6－2 を表紙として一括綴りし、一括通し番号のページを用紙下部に入れ、片面印刷とすること。また、項目ごとにインデックスまたは見出しを付けること。A 3判については、A 4判になるように折り込むこと。なお、製本方法及び用紙は自由とする。ファイルの表紙、背表紙には、「裾野市長泉町衛生施設組合火葬炉設備技術提案書」との表題と、整理記号のみ記載 すること。
- ③ 添付書類は、該当する様式に続けて綴ること。

以上